

貯蓄の奨励と云ふ目的で、ある七八人の節儉家が
ある所で、會議を開いた。

この會議は、午後の二時から、始まつたが、議
論百出、甲論乙駁、中々、容易に議が纏らない。

そ—こ—してゐる中に、だん／＼日が傾いて、點燈
頃となつた。そこで、氣の利いた、一人の會員が
早速、マツチを取り出して、ランプを燈さうとし
た。所で、其中の議長とでもいふべき資格の一人
が。

「君、ランプをつけようとするのか、これは怪し
からん、相談をするに、何も、眼を使ふ必要があ
るではなし、まして、點燈の必要が、どこに在
る？ そんなことでは、大に節儉の趣意に背くで
な—か—」

一座、なる程と感心した。そこで、どう／＼暗

がりで會議を濟ました。

さて、散會となつたが、暗がり、各自の履物
が知れない。是非なく、一人が、

「これは、仕方がない、マツチを磨らう」

すると、例の議長が

「なーに、そんな無駄をするには及ばぬ、庭へ下
りて、二人づゝ、頭の鉢合せをおやんなさい。直
目から火が出るから」

前號考物の解

力轉山上石、石が山の下へ來ると、岩

刀斬水笥竹、笥の竹を斬て仕舞へば、見

不遠千里道、千里を近づけると、重

抱玉一人郎、一人玉を抱ば太で郎、太郎

夫で、答は「岩見重太郎」となります。

これは 元園町帝國婦人協會の照子さんと 奈良
縣宇陀郡三本松村の高濱善太郎君とに、甘く當ら
れました。そこで、

この次の考へもの

(一) Smiles を英語の人名の中で 一番 長いのだ

と云ふ譯は？

(二) 十一を 半分に 分けると 六つづゝになると

いふその解は？

まー 是丈にして置きましょう。できますか？

謎々

(一) 草履取とかけて

(二) 馬鹿息子とかけて
なんとく。

